

保土ヶ谷薬業会だより 令和6年9月号

=== 会長報告 ===

平素より本会の運営にご理解ご協力頂きまして誠にありがとうございます。

まず初めに先日の納涼会には多くの方にご参加頂きましたことを感謝御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の第11波がきておりましたが、開催して交流を深めることが出来て良かったと考えております。残念ながら参加できなかった方は来年の新年会でお会いできたらと考えておりますので宜しくお願い致します。

さて、先日スギ薬局が起こした調剤事故によって患者がお亡くなりになり、会社と薬剤師に対して損害賠償を求めて提訴されたとの報道がありました。報道の内容では直前の分包作業で分包機に残っていた別患者のメトホルミンとグリメピリドを誤って混入させたとのことです。お亡くなりになったのは緊急搬送された半年後のため、因果関係は不明とのことですが、こういった事故が報道されると自分たちの仕事が人の生命に直接的にかかわる仕事だと改めて認識させられます。AIが発達して便利な世の中になることは間違いありませんが、ロボットが調剤したとしても患者に薬を渡す前に必ず人が関わり、人が関わるということはミスが起こる可能性があるということです。また、ロボットも絶対にミスが起こらないというわけではないので、細心の注意をもって業務に取り組む必要があります。また、長く県薬のリスクマネジメント委員会に所属しておりますが、ミスを起こしてしまって患者に謝罪する場合に初期対応を間違ったことによって拗れてしまい訴訟問題になりかけたケースの報告も来ております。調剤事故を起こした場合の対応策等は県薬が作成している「調剤事故防止・発生時対応マニュアル」をご確認下さい。様々なケースがあるとは思いますが、対応方法等は参考になるかと思えます。

今後もメーリングを中心に皆様には有益な情報を発信して参りますので、メーリングやLINEに登録ご希望の方は下記内容をご確認下さい。皆様や家族、スタッフの体調にご留意頂き、お体ご自愛頂ければと思います。今後とも本会の運営にご理解ご協力の程宜しくお願い致します。



オープンチャット QR コード



ホームページ QR コード

石井 泰彦

メーリングリスト登録希望連絡先
yasuhiko@ishii-kusuri.com

□□□勉強会のお知らせ□□□

2024年9月13日(金) 20:00~21:35

保土ヶ谷医療センター2F 保土ヶ谷区医師会会議室(保土ヶ谷区天王町1-21)にて開催
研修センターの新システムに伴い現地参加の方は個人のQRコードを紙に印刷して持参してください。
現地のみの開催となります。※研修会に参加するには事前参加登録が必要です。今回の登録は終了しています。

『当院の臨床工学技士の役割と薬剤師とのかかわりについて』(20:00~20:50)

聖隷横浜病院臨床工学室 室長 物江 浩樹 先生

『透析業務におけるCEと薬剤師の連携』(20:50~21:35)

聖隷横浜病院臨床工学室 技士 工藤 直樹 先生